



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24

RI 第 2500 地区

Vol. 037

No. 2344

地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011 年度 RI 会長 レイ・クリングスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

士別 RC テーマ:

「ロータリーを見つめ、明日の地域へつなごう」

商工会館
画/百瀬達夫

- 例会場/士別グランドホテル
- 例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所/士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会 長/神田 英一 ●副会長/若森 孝
- 幹 事/宮崎 隆雄

第 2426 回例会 2011 年 5 月 23 日 (月)

本日のプログラム ・ 例会

前回 (5 月 16 日) の記録

・ 例会

司 会 本山忠之会場監督
 斉 唱 我等の生業
 本日の出席 会員 53 名中 出席者 41 名 出席率 77.3% 修正 86.8%
 本日の欠席 今井 裕、加藤 博、川橋勝美、黒田康敬、佐藤元信、近井孝義、千葉繁夫、
 中川涼一、野 英俊、深尾幸夫、宮崎隆雄、北村浩史、

メイクアップ 神田英一、宮崎隆雄、泉谷 勇 (5/14、富良野 RC 創立 50 周年式典出席)

ビ ジ タ ー
 ゲ ス ト 士別市総務部財政課主事 菅原聖弘氏

ニコニコBOX 佐藤和彦 (5 月誕生祝)

累計 303,000 円

例 会 予 定

● 5 月例会日

5 月 2 日 (月) 早朝例会
 5 月 9 日 (月) 例会・理事会
 5 月 16 日 (月) 例会
 5 月 23 日 (月) 例会
 5 月 30 日 (月) 夜間例会

● 6 月例会日 (ロータリー親睦活動月間)

6 月 5 日 (日) IM (士別)
 6 月 6 日 (月) 特別休会
 6 月 13 日 (月) 例会
 6 月 20 日 (月) 例会
 6 月 27 日 (月) 夜間例会

■会務報告 神田英一会長

●本日ゲストに士別市総務部財政課主事菅原聖弘さまを迎えています。後ほど東日本大震災の支援活動につきましてお話をいただきます。

●14日富良野RC創立50周年記念式典に泉谷会員と出席してまいりました。富良野市長はじめご来賓、パストガバナー、多くの地区内ロータリアンの参加のもと、厳粛にかつはなやかに開催されました。現役の創立時メンバーは、お一人でその日下会員が実行委員長をつとめられました。記念事業はフラノ・マルシェに四つのテストを明記したソーラー時計の寄贈、絵本文庫の寄贈です。

●昨日朝9時30分から陸上競技場で開催されました、健康ウォーク in しべつに参加いたしました。当クラブの佐藤安司会員も参加され一緒に歩きました。

●寒くて皆さん防寒の用意をしてスタートしましたが、歩き出しますと暖かくなり上着を脱ぎ、汗をふきながらマイペースで心地よい風をうけながら5.6キロを歩きました。

●また、12時から神社山で花見をしました。天気が良く風も無く暖かくて、幾つかのグループが訪れて、ジンギスカン、ビール、お酒を飲み、残念ながら花はありませんでしたが、蕾の花見を楽しんでいました。例年聖徳神社祭も行われて、舞台ではカラオケ、ほう引き、餅まき等も行われ、大勢の市民が来場され楽しいひと時を過ごされていました。

●6月5日開催のIMは全員登録をお願いいたします。当日仕事や用事でどうしても出席できない会員には、宮崎幹事に連絡ください。登録料は8,000円です、本日から30日までに千葉会計に支払い願います。本日例会終了後IM運営委員会を開催いたします。出席者はガバナー補佐、運営委員長、副委員長、会長、会長エレクト、副会長、幹事、各委員会委員長、副委員長です。次週5月23日の例会は全体会議の予定です。

■その他の報告

●ゴルフ同好会 幹事 神田英一

5月22日、13時より第1回目の同好会のコンペを開催致します。現在10名の出席のご連絡を頂いております。まだ出欠を出され

ていない会員は私か志村会員または國森会員にご連絡をお願い致します。

■委員会報告

●社会奉仕委員会 山本俊一会員

5月20日に午後11時から30分間、大通り6丁目と6丁目を中心地と致しまして「人の波・旗の波」の交通安全の啓発を致します。集合場所は元市民生協駐車場、集合時間は10時30分に成っておりますので多くの会員の参加を宜しくお願いいたします。

■ゲスト卓話

●士別市総務部財政課主事 菅原聖弘氏

本日ご報告させていただきます被災地派遣に関しましては大きく3つに分けて説明させていただきます。

1. 派遣されるに至った経緯。

組合役職は士別市職員労働組合青年女性部書記長。役職も申し上げた理由は労働組合の組合員として参加したためです。

日本労働組合総連合会（連合）から全日本自治団体労働組合（自治労中央本部）、そこから全日本自治団体労働組合北海道本部（自治労北海道本部）から全日本自治団体労働組合北海道本部青年部（自治労北海道本部青年部）から士別市職員労働組合青年女性部へ派遣要請がありました。～連合救援ボランティア約1週間交代で全都道府県中4都道府県・各6人ずつ計24人体制を基本として作業実施（5月16日現在、第6陣として滋賀県・兵庫県・奈良県・和歌山県・京都府が活動に当たっている）。自分が参加した時は第2陣で北海道・山梨県・群馬県・栃木県から参加。北海道は日高・空知・上川管内より6人参加。6人中3人が士別市の職員です。

なぜ士別から3人も参加したのか。～自治労北海道や道内各市町村で十分な協議をする時間がなく、参加体制の確立が不十分であった為当初士別1名から増員し、3名を派遣することとなりました。

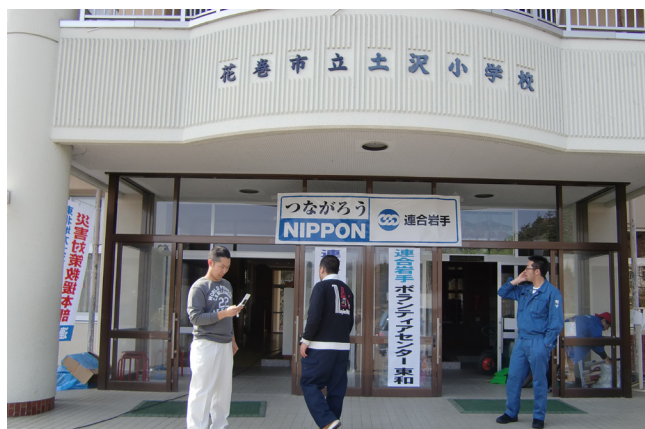
当初、市民への心配等（このご時世に3人も出して役所は暇なのか）があったものの人道的観点から一番優先するものはなにかと考えた時、現地住民の生命に直接関わらないものの生活に密接にかかわる活動であ



ると考え、市民への対応・世間体等諸々の心配事はあったが、致し方ない決断だと判断したところでございます。

2. 現地の状況及び作業

4月8日～4月15日までのスケジュール。ベースキャンプの岩手県花巻市土沢地区の旧土沢小学校（廃校）。そこから大船渡・陸前高田・釜石周辺に重点を置いて活動し旨指示を受ける。（第2陣参加組合～基幹労連、日教組、自治労）



前日夜の震度6強の余震によりベースキャンプのライフラインがストップしてしまい、1日目・2日目と盛岡市で足止めになってしまいました。滞在中1日3～5回程度余震続き、報道されていないものも含めて多くの余震がございました。

その後、ベースキャンプに入り大槌町で活動する旨指示を受ました。

大槌町は岩手県上閉伊郡にある、人口～1万5千人程、4月9日現在死者583人、不明者1068人に及ぶ、町長ほか数十人の役場職員が亡くなり行政機能が麻痺してしまう、報道等でご存じのとおり民宿の屋上に船が載ってしまったことで知られております。

出発日から起算して3日目より5日間作業を行いました。ベースキャンプから片道90km1時間30分かけての移動して実際の活



動は大槌町桜木町というところで、未倒壊家屋の家具等の搬出及び汚泥排出を1班10名程度のグループで作業となりました。



3. ボランティア活動を終えて感じたこと

実際作業をし、被災地の方と接して思ったことは、想像と違い被災地の方々は、復興に意欲的で反応も明るく、住人に感謝をされ自分達が僅かでも役に立てたことに嬉しく思います。

一年後必ず保育園を復興させて、元気にあそぶ園児の姿を見て欲しいと保育園の園長より力強く発せられたその言葉に胸を打たれ、来年の春にまたここに帰って参ります。と約束しました。生涯忘れられない出来事のように思います。

一生の内このように被災地で復興活動をするという体験はそうそうないと思います。理想を言えば、国民全員が現地に赴き、1日でも良いので被災地の方々と触れ合い共に作業をすることで、大変貴重な経験が出来、自身の財産として得られるものがたくさんあると感じます。

被災者の方に於いては、一日も早く傷心が癒やされ、心豊かな生活を送ることが出来るよう一日も早く復興することをご祈念申し上げ、報告に代えさせていただきます。ありがとうございました。

